

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	第14期第10回男女平等参画推進審議会
開催日時	平成31年1月24日（木曜日） 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	女性総合センター 第2学習室
次第	1. 開会 2. 議題 第14期男女平等参画推進審議会を振り返って 3. その他 4. 閉会
配付資料	<ul style="list-style-type: none">立川市第6次男女平等参画推進計画実施状況報告（平成29年度年次報告）に対する意見について（答申）（写）立川市第7次男女平等参画推進計画の策定にあたっての基本的な考え方について（答申）（写）平成30年度立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定（パンフレット・認定式案内チラシ）アトム No.36（平成30年発行）
出席者	[委員] 加藤恵津子、鳥生尚美、矢野美智子、片野 勸、富永静枝、平野千絵、山田廣幸 [事務局] 小林健司（総合政策部長）、岡田幸子（男女平等参画課長）、横田昌彦（男女平等参画係長）、荒井純子、齊藤悦子（男女平等参画係）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	○立川市第6次男女平等参画推進計画実施状況報告（平成29年度年次報告）に対する意見について（答申） 会長から市に対し、表記の件について答申を行った。 ○立川市第7次男女平等参画推進計画の策定に当たっての基本的な考え方について（答申） 会長から市に対し、表記の件について答申を行った。 ○その他 男女平等参画推進事業及び審議過程全般に関して意見交換を行った。 <ul style="list-style-type: none">市の施策に対して意見を言うこと、またそのような機会を持つことは素晴らしいと思う。「実施状況報告」は、分かり難い記述や表現はまだあるものの進化していると思う。これまで議論してきたことを、よりスピーディーに今後の解決に繋

	<p>げて行って欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「女性の職業生活と家庭生活の両立に向けて『本人の意思が重要』・・・」という、『本人の意思が重要』と記載があるが、このことは大変大事なことである。 ・今やりたいことを実現するためには、過去の自分の行動が大事である。事前にライフステージを知っておくことでどんな生活になるのか具体的なイメージをもつことで、現在が能動的になることができる。 ・施策に対して意見を言う仕組みが良いと思う。 ・男女平等に関連するのかわかれる項目もあるので、疑問がもたれないような書き方と分かりやすい書き方をし、公平にしていくとより良いと思う。 ・ブレーストーミングのように自由に意見を出し合うことで色々な人の考えや意見を知ることが出来た。 ・この審議会に参加することで、デートDVに関する講師の機会を与えて頂いたことに感謝します。 ・今の推進計画の枠を超えて、女性の就労に関する事項など調査を行って欲しい。コミュニティの中で産業の実態を把握することは大事であり、これをバックボーンにして、施策づくりを実施していくことは、理念よりデータを見せることで、一般市民の納得・理解を得やすい。 ・雇用の場は、現在働いている人が主となっているが、今後の高齢化社会を見据え、高齢者が働く目的や意義についても考えて欲しい。 ・女性の働き方も、単にお金のためだけでないかもしれない。高齢者の働く意義と同様に考えると良いのではないか。 ・審議会当初に比べ、数字の出し方などが市民目線になってきている。 ・個人の尊重＝ジェンダー平等の社会であると思う。 ・若い世代の人に対して疑問を持たせるような啓発をしていきたい。 ・審議会委員には、男性が半数は欲しい。 ・公募委員に若い人や男性を加えて欲しい。今後どのような働きかけがよいのか検討も必要。
担当	<p>総合政策部男女平等参画課男女平等参画係 電話 042-528-6801</p>